

表1 展示住宅分譲価額

住宅番号	土地面積	建物		分譲価額		賃借権付の場合	
		構造	延床面積	所有権	賃借権付	月賃	敷金
1	239.97	(ツブバイフォー) 木造2階建	119.99	19,062	16,730	5,800	17,400
2	239.86	木造2階建	109.20	18,698	16,367	5,800	17,400
3	239.64	木造2階建	109.94	19,030	16,701	5,800	17,400
4	239.75	(ツブバイフォー) 木造2階建	119.93	18,959	16,629	5,800	17,400
5	236.53	木造2階建	112.68	18,950	16,652	5,700	17,100
6	296.52	(ツブバイフォー) 木造2階建	118.68	20,894	18,012	7,200	21,600
7	297.65	木造2階建	109.99	20,930	18,038	7,200	21,600
8	297.77	木造2階建	109.56	20,881	17,987	7,300	21,900
9	297.65	木造2階建	119.65	20,930	18,038	7,200	21,600
10	297.77	(ツブバイフォー) 木造2階建	110.13	20,913	18,019	7,300	21,900
11	297.65	木造2階建	110.00	20,930	18,038	7,200	21,600
12	293.97	木造2階建	109.97	20,769	17,912	7,200	21,600

住宅供給公社 展示住宅分譲

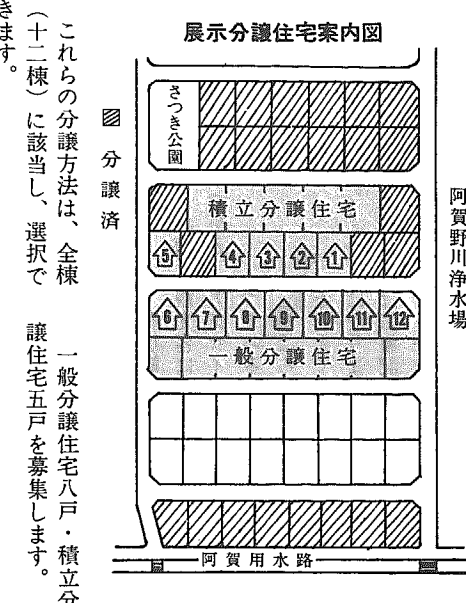
6月14日から23日まで

新潟県住宅供給公社では、六月十四日から二十三日まで横越団地で住宅展示会を開催し、分譲をします。この展示住宅は、村内外の

(一)所有権取得分譲住宅
入居時に土地・建物を一括取得するもの。

一般・積立分譲住宅の募集
6月23日(月)～6月30日(月)

八業者が腕をふるって設計し、建築された住宅十二戸のうちツブバイフォー住宅は四戸で、いずれもお買得の住宅となっています。展示住宅の土地・建物の規模、分譲価額等は、表1のとおりです。



新潟県住宅供給公社分譲課
(三三) (八五) 六一一三
または、役場建設課二二二
なお、住宅展示会期間は、
現地案内所でも業務を行います。

家族全員が 食べることを大切に

このような話をすると、「忙しくてとても理想どおりにいかない」と言われる方がおられます。しかし、「食べる」こともひとつ比重を置いて、毎日の生活を送っていれば、食

心の食

事に對する配慮は自然と行き届くようになるのではないのでしょうか。また、主婦だけでなく、家族の一人ひとりが、食べることをもつと大切にしていく、食事のきずなはより強く、心のひだも広がっていきくと考えられます。



事業所 統計調査

調査にご協力を

国の最も基本的な統計調査の一つである「事業所統計調査」が七月一日現在で、全国いっせいに終わります。この調査は、わが国の経済活動の基礎である事業所の実態を全国および地域別に明らかにすることが目的です。調査の結果は、国・地方公共団体が行う経済計画、地域開発計画、都市計画などの諸施策や、民間における事業計画の基礎資料として広く利用されます。

七月七日から県知事より任命された事業所統計調査員が各事業所を訪問して、調査票の記入をお願いします。提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので正確な申告にご協力をお願いします。

犯罪捜査にご協力を
事件・事故を 見たり聞いた時は すぐに一〇番

犯罪等の事件を早期に解決するためには、犯罪捜査に對する地域の皆さんの協力が是非必要です。昨年一年間で皆さんのご協力によって犯人を検挙した件数は、県内の場合、約四千件もありました。

ひだを広げる 事づくりを

加工食品や惣菜食品は、材料がすべて組み合わせ済みですから、家族の体の状態や好み

水道週間 6月1日～7日

暮らしを支える水道は、自然の恵み

現代文明は「水の道」をつくり出しました。陸地に降った雨や雪は、地下水をかん養するほか、川となり、これらが浄水場までパイプなどで送

りこまれます。そして安心して飲む水につくり変えられ、水道管を通してわたしたちのもとに届けられるのです。わたしたちは、水道の水は

蛇口をひねればいくらでも出てくるものと思いがちですが、実はそうではありません。何日間も日照りが続けば、水がめ、は底をつき、節水が叫ばれ、わたしたちの生活は大きな支障をきたします。このように日ごろなげなく使っている水道の水は、自然の力に大きく左右されます。また、安心して飲む水をつくりだすのに膨大な費用がかかっています。

食事こそ 家族のきずな

最終回 女子栄養大学教授 食生態学 足立己幸

こつてりした料理を好む子供、あつさりしたものをお食べたい大人、塩分を控えなければならぬお年寄り——といったように、食事に対する要求は、年齢や体の状態、好みによって一人ひとり違います。同じ家族とはいえ、子供からお年寄りまで、だれにも喜ばれる食事を作るというのは至難のわざです。

材料や料理のとり合わせに気を配ったり、味つけを工夫したりと、主婦は家族それぞれの好み、要求に沿うようやりくり算段しなければならぬからです。しかし、そう努力することが、結果的に栄養素のバランスもとれた食生活につながっていくのです。

ところで、この食事づくりという行為は、他の動物には見られない極めて人間の活動

一つです。家族への愛情を込めて味つけや盛りつけに気を配るといったことは、ほかの動物にはまねのできないことだからです。

食事づくりが、人間的な活動の典型であるとか、調理が極めて高度な創作活動である、といわれるのもそのためでしょう。

おぎなりに なりつつある食生活

ところが最近、その最も人間的な活動であるはずの食事づくりが、おぎなりにされているように感じることが少なくありません。

以前、小学生が持参したお弁当を写真に撮って、どんな食品が多く使われているか調べさせていたことがありました。どのお弁当も盛りつけはたいへんにきれいなのですが、内容はどれも同じような加工食品が多く、食品の組み合わせの単調さは否定できませんでした。また、全体的に野菜の量が少なく、なんと全体の四割に当たるお弁当に、野菜がほとんど使われていませんでした。